

表象文化論学会

第8回研究発表集会

2013 11月9日^土
10:00 → 18:00

午前
10:00 - 12:00

研究発表

1

身体と貨幣 鮎川真由美(近畿大学)

過去と未来の間の裂け目で動く——アレントにおける思考の時間的次元をめぐって 対馬美千子(筑波大学)

雨はいつ降るのか 恩地元子(東京藝術大学)

(司会) 竹峰義和(東京大学)

18号館コラボレーションルーム1

研究発表

2

観察の技法としてのシュルレアリスム 河上春香(大阪市立大学)

地下鉄的想像力——ソヴェト・ロシア映画における地下鉄空間イメージの変遷 本田晃子(北海道大学)

映像という詩のかたち——シモヌ・ヴェイユとジョナス・メカス 今村純子(東京大学)

(司会) 平倉圭(横浜国立大学)

18号館コラボレーションルーム2

研究発表

3

慈恵のために——樂善会のダイナミズム 木下知威(日本社会事業大学)

平手造酒の虚像の変化について 宍倉洋介(京都大学)

上田敏『うづまき』における音楽記述の問題 新田孝行(早稲田大学)

(司会) 横山太郎(跡見学園女子大学)

18号館コラボレーションルーム3

午後 I
13:30 - 15:30

書評パネル

國分功一郎 × 千葉雅也

『ドゥルーズの哲学原理』 × 『動きすぎてはいけない ジル・ドゥルーズと生成変化の哲学』

國分功一郎(高崎経済大学) 千葉雅也(立命館大学) 堀千晶(早稲田大学) (司会) 佐藤嘉幸(筑波大学)

アドミニストレーション棟学際交流ホール

午後 II
16:00 - 18:00

企画パネル

ポール・ド・マン没後30年——記憶、機械、翻訳

芸術の過去性と物質性——ポール・ド・マンのヘーゲル美学読解における記憶の問い 宮崎裕助(新潟大学)

de Man de-manned——生態学的視点からド・マン再読を試みる、ならば 三原芳秋(同志社大学)

断絶と移行——ポール・ド・マンの翻訳論 吉国浩哉(東京大学)

(コメンテーター) 土田知則(千葉大学) (司会) 宮崎裕助

18号館コラボレーションルーム1

研究発表

4

テレビにおける野球中継の分析——映画との比較から 滝浪佑紀(東京大学)

テレビにおける「気分」分析の試み——原発事故報道を題材として 谷島貫太(東京大学)

中国抗日ドラマと日中歴史表象の可能性 劉文兵(東京大学)

(司会) 長谷正人(早稲田大学)

18号館コラボレーションルーム3

京王井の頭線 駒場東大前駅 下車

東京大学 駒場キャンパス 18号館 / アドミニストレーション棟 学際交流ホール

事前予約: 不要 参加費: 会員無料 / 当日会員 1,000円

(非会員の方は当日会員としてご参加いただけます)

問い合わせ先:

表象文化論学会事務局

〒153-8902 東京都目黒区駒場3-8-1

東京大学大学院総合文化研究科 表象文化論研究室内

FAX 03-5454-4336

E-mail repre@repre.org URL http://www.repre.org